

市民が主役、  
子供達の未来のために。  
朝霞市議会・保守

令和7年 冬号

# あさか未来

みらい

発行日：令和7年1月1日  
発行元：朝霞市議会保守会派  
あさか未来  
責任者：会長 田原亮  
電話：423-0437  
所在：朝霞市本町1-1-1  
(朝霞市役所内)



令和6年12月17日  
小野寺のりこさん×あさか未来懇談会

令和6年12月20日  
小野寺のりこさんと駅頭PR活動！

## 小野寺のりこさん×あさか未来、新たな未来の扉を開く。

去る令和6年12月17日、12月議会閉会後の翌日。厚生労働省の元職員で、埼玉労働局職業安定部長や本省障害者雇用対策課長などを歴任された小野寺のりこさんを囲んで、あさか未来メンバーとで懇談会を開催しました。小野寺さんが幼い頃の朝霞とのご縁、そして埼玉県職業安定部長時代に朝霞市との連携が進まなかった経験を経て、馴染みのあった朝霞のこれからを考えるようになり、早期退職を選択して**市政改革に挑戦**することを決断しました。

遡ること令和6年12月6日には、あさか未来会長田原亮が代表となり政治団体**ワンチームあさか**を設立。政党やイデオロギーの壁を超え、文字通りワンチームとなって朝霞の新たな未来の扉を開く！そんな活動を始めました。我々あさか未来は「**市民が主役、子供達の未来のために。**」という会派スローガンの下に、力を合わせて参ります。



40年程前、朝霞市の人口は約9万人でした。今は14万人後半ということで、その数約1.5倍です。増加数の多くは流入人口で、あさか未来8名のうち4分の3も実は流入組です。元々の地元の皆様とも良好な関係を築きつつ、若い世代の皆様との交流も促進し、より良い暮らしを**一緒に創る対話の力**を知っているのが、小野寺のりこさんです。皆様に小野寺さんを紹介したい！街中で小野寺さんを見かけましたら、ぜひお声掛けください(^^)v



## 補正予算が中心の議案審査が行われた12月議会が閉会。

議案第90号から99号、そして会期中の追加議案として議案第100号から106号までの、計17本の議案審査が行われた12月議会でした。一般会計補正予算では実効性の担保を求め続けていた**教職員による性暴力等の被害を防ぐ取組**について、我が会派が提出した9月決算認定議案に対する附帯決議に一定の前進が見られたため賛成。ただし、内容については**高堀亮太郎議員**が、指針策定に関する検討会議への強い要望を付言する討論を行いました。その他、国民健康保険税条例改正では**西明（さやか）議員**、住民税非課税世帯や子育て世帯への支援給付金（追加分）については**飯倉一樹議員**が討論を行いました。昨年の改選後の初議会から丸一年。質疑や討論に率先して参加している同会派議員のご貢献に敬意を表し、本紙面では毎回その様子を紹介させていただいております^^





## 学びが盛り沢山！あさか未来初の本格的な行政視察in北海道。

9月決算議案への附帯決議を巡る行政視察。第一弾は「**教職員等による児童生徒性暴力等防止に関する取組**」をテーマとして、札幌市教育委員会学びました。法制定や文科大臣決定を受け、都道府県レベルでは取組が始まっていますが、市町村レベルは全国的にまだまだこれからな感じです。札幌市はこの教職員性暴力等問題について、20年以上も前の被害を訴えた訴訟事案を受けて、問題意識高く取組んでいる様子が伺えました。これは本市も同様で、令和5年10月の本市教職員逮捕事件を受けて、去る9月議会では実効性が担保された取組を求める附帯決議が議決されるなど、早急な取組を**市議会側が強力に求めた背景**があるので、学びをしっかり活かして参ります。

第二弾は「ボールパークを中心とした新たなまちづくり」をテーマに、白老町へ向かう途中エスコンフィールドに立ち寄りしました。北広島駅からシャトルバスで僅か5分。試合がない時にも人が集まる仕掛け、まちづくりの視点から取組む「**共同創造空間**」をコンセプトとしています。今、朝霞市では基地跡地をどうするのか、一般質問を俯瞰しても関心が高まっているように感じます。Fビレッジのような考え方を参考にするのも一案ですね^^



## 後半は議会**改革**を徹底的に学びました。必ず活かして参ります。

令和5年四市議長会研修で強く印象に残っているのが、**二元代表制**はもとより政策形成過程に議会が如何に関わるかという視点でした。今回は白老町議会の議会改革の取組を学びましたが、平成10年の第一次議会改革の段階から、この**政策形成過程での議会の関与**を明確に打ち出しています。予定時間を超過する熱い質疑となりましたが、議会運営委員会でもう一度視察に来たいと思うくらいの濃厚な内容で、非常に参考になりました。議会の自律性、議会の力の強化こそ市民の利益に資するものであり、白老町議会の第一線の取組からは多くの学びを得ました。

そして北海道白老町と言えば、先住民族アイヌを主題とした日本初の国立博物館、国立アイヌ民族博物館があるウポポイ民族共生象徴空間が有名です。ウポポイとは、アイヌ語で（大勢で）歌うことを言うそうです。アイヌ文化の保存・継承の現状、そして**共生社会実現に向けた取組**への理解を深めることが目的ですが、まずこの雄大さに圧倒！そして最後に、今回の白老町議会視察は飯倉議員のつながりで、**戸田安彦道議（元白老町長）**に多大なお力添えを賜りました。駅前事務所には何と！戸田道議ご本人がご在所で、直接御礼を伝えることが出来ました^^

